

2017年度前期 昭和女子大学 公開講座プログラム

第1回 5月27日(土) 10:40～12:10

定員 30名

昭和キャンパスの自然 —花・木の実・昆虫を観察する—

講師 ●現代教養学科 教授 常喜 豊

昭和学園世田谷キャンパスは、大小合わせて4,000本以上の樹木が茂り、四季を通じてさまざまな花が咲いています。これにひかれて、鳥や昆虫類も多く集まってきます。都会には珍しいこの豊かな自然を楽しんでもらうため、まず私が日頃推奨している「まちあるき自然観察」の方法を簡単に紹介した後、キャンパス内を歩き、目につく自然の風物について説明します。

今年度は、「食べられる木の実」にも注目して案内します。



後援：せたがやeカレッジ

講師プロフィール じょうき ゆたか

理学博士。専門は動物生態学、動物行動学。主たる研究テーマは、熱帯林における甲虫類の生態と、都市環境における昆虫と人間との関わり。授業科目では、人間と環境、環境生態学、生物学概論などを担当している。

第3回 7月1日(土) 10:40～12:10

定員 15名

江戸時代女性の化粧道具と折形

—真田家に伝わるお道具から—

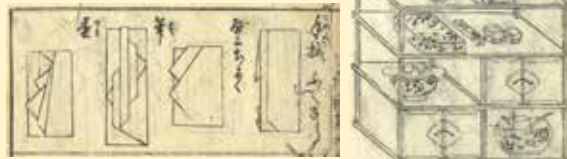
講師 ●初等教育学科 准教授 豊田 千明

江戸時代の女性の化粧について、当時使用された百科事典等の挿絵を見ながら概観し、実際に使われていた化粧道具(真田宝物館所蔵品)を紹介いたします。合わせて、化粧道具を包む「折形」の実習をします。

折形は、江戸時代の女性に必要とされていた教養のひとつで、女子用往来と呼ばれた女性用教科書にかならずと言っていいほど、図入りで掲載されていたもの。

今でも、祝儀袋や結婚などの儀礼にその文化が継承されています。

◆持ち物：ものさし(30~40cm)、筆記用具



『女諸禮綾錦』(宝暦五年刊・架蔵本)

後援：せたがやeカレッジ

講師プロフィール とよだ ちあけ

専門は国文学、特に近世俳諧。2000年から信州松代の真田家の俳諧資料調査に参加。現在、松代で月一回開催される「真田連句をよむ会」にて、地域文化財ボランティア、地元住民のみなさんとともに、六代藩主真田幸弘の俳諧記録を読んでいる。

第2回 6月10日(土) 10:40～12:10

定員 50名

『源氏物語』の自然描写 —野宮での別れ—

講師 ●日本語日本文学科 大学院文学研究科 教授 胡 秀敏

嫉妬深い女性とイメージされがちな六条御息所は、実は教養深く情感豊かな貴婦人でした。光源氏への思いを断ち切るべく、娘の斎宮に付き添って伊勢下向を決意した彼女を源氏が訪問します。

景情融合の美文で綴られた野宮での二人の再会と別れの名場面を「源氏絵」とともに鑑賞します。



学生手作りの几帳

後援：せたがやeカレッジ

講師プロフィール こ しゅうびん

博士(文学)。専門は平安文学、和漢比較文学。主に『源氏物語』を頂点とする平安文学の雅な美意識の表現様式を和歌、物語、日記を中心に研究し、それらの作品を中国文学との比較を通して、よりグローバルな視点から日本文学の特徴を考察している。

第4回 7月8日(土) 10:40～12:10

定員 20名

ベトナムの伝統的衣服 —らくらくパンツ(クアン)を作ろう!—

講師 ●環境デザイン学科 教授 谷井 淑子

ベトナムの民族衣装といえば長い裾が優美な女性のアオザイ姿を思い浮かべることと思われます。現代の身体にぴったりとフィットしたアオザイの祖型といわれるのが、アオ・ナム・タンという身幅のゆったりとした丈の長い平面構成の上着で、幅広のパンツ(クアン)と共に着用します。ベトナム北部の農村部においては、現在でも高齢女性に着用されています。伝統的なクアンは、脚部から股下にかけて一枚布で裁ち、股下がバイアスとなるのが特徴です。裾幅が広く、ゆったりとしたクアンはベトナムの高温多湿な気候風土に適応した形態であり、布幅を最大限に生かした構成です。

今回の講座では、ベトナムの伝統的な衣服や着装法を紹介し、伝統的なクアンの構成法について、ワークショップを行ないます。



後援：せたがやeカレッジ

講師プロフィール たにい よしこ

専門は服飾造形、服飾文化。2005年より昭和女子大学国際文化研究所の研究プロジェクト「ベトナム伝統農村集落地域比較研究と保存」に参加し、ベトナム北部、中部、南部において伝統的な衣服に関する現地調査を行なっている。

- 受講料：無料
- 会場：昭和女子大学内教室(当日守衛室でご案内します)
- 申込方法：E-mail またはホームページから ①受講希望日 ②氏名 ③連絡先 をお知らせください。
- 申込先：昭和女子大学地域連携センター
- 申込開始：4月1日から E-mail ▶ openseminar@swu.ac.jp HP ▶ http://univ.swu.ac.jp/community_relations/

※受講の可否についてこちらから連絡させていただきます。申込後1週間を過ぎても連絡がない場合は、恐れ入りますが再度お問い合わせください。



2017 年度後期 昭和女子大学 公開講座プログラム

第5回 10月14日(土) 10:40～12:10

定員 50名

ベトナム伝統集落のまちづくりに参加しよう

～ホイアン・ドンラム・カイバー市民交流～

講師 ● 環境デザイン学科 教授 友田 博通

昭和女子大学国際文化研究所は1992年文化庁からベトナムホイアンの町並み保存協力を依頼され設立、1999年ホイアンの世界遺産登録に貢献。その後、2006年ハノイ近郊ドンラム村、2017年にホーチミン近郊カイバーの国家文化財指定に貢献しています。この講座では、研究費による保存体制の確立、JICAパートナーとしての観光開発、国際交流基金の助成で市民交流によるまちづくりと、現在も継続している協力についてお話しします。今年は12月に横浜・神戸・長崎などの洋館街で知られる地区の市民の方々を中心にカイバーと交流します。皆様もまちづくり市民交流に参加しませんか。

講師プロフィール ともだ ひろみち

現在、国際文化研究所長。著書に『心の住む家』(理工図書)、『ベトナム町並み観光ガイド』(岩波アクティブ新書)、建築作品に伊東T氏邸(新建築「住宅特集」1989年3月号)藤沢T邸(同1996年10月号)など。ベトナムの文化財保存でもユネスコアジア太平洋文化財保存賞3回、建築学会賞、文化庁長官表彰などを受賞。

※10月7日(土)には、東京国立博物館講堂で、ベトナムを含む東南アジアの歴史都市のまちづくりについてのシンポジウムが開催されますので、ぜひこちらへもご参加ください。詳細・お申込みは文化遺産国際協力コンソーシアムのHP (<http://www.jcic-heritage.jp/jcicheritageinformation20170901/>) をご確認ください。(主催:文化遺産国際協力コンソーシアム / 共催:文化庁国際交流基金)

後援: せたがやeカレッジ

第6回 11月18日(土) 10:40～12:10

定員 30名

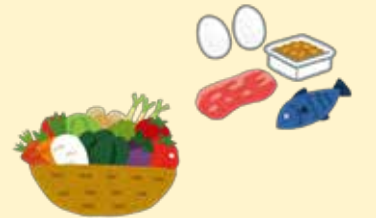
食と健康を考える

講師 ● 管理栄養学科 教授 横塚 昌子

あらゆる情報が溢れている現在、食に関する情報を正しく理解して、健康の維持増進に役立てていらっしゃいますか。生活習慣病やメタボリックシンドロームは、文字通り日々の生活習慣が原因となります。食生活において、摂取した食物の基本的な消化と吸収のメカニズムを紐解き、日々の食事の内容(どのような食べ物をどのくらい、どのように食べているか)が、適切かどうかを確認してみましょう。ご自分に合った食事設計のヒントをご紹介します。

講師プロフィール よこつか まさこ

専門は、栄養学。主たる研究は、無作為化比較試験によるメタボリックシンドローム危険因子の個数削減のためのライフスタイル改善プログラム効果の評価、女子中学生を対象とする無作為化比較試験に基づく食育効果の評価など。



後援: せたがやeカレッジ

第7回 11月25日(土) 10:40～12:10

定員 20名

はじめての日本画 ～和紙カードにクリスマスを描く～

講師 ● 初等教育学科 専任講師 早川 陽

日本画の表現方法を使って小さな絵を描きませんか。和紙のカードにクリスマスイメージしたお好きな画題を描きます(あらかじめ下描きや案をお持ちになっても構いません)。最初に金銀の砂子をまいて乾かしたあと、墨・顔彩・水干絵具・岩絵具などの絵具で彩色しましょう。お気に入りができたらメッセージを添えて、大切な方へ贈ることもできます。基本の材料一式はこちらで用意し、使い方も説明しますので、はじめて描く方も心配は要りません。

講師プロフィール はやかわ よう

東京生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。同大学院美術研究科博士後期課程芸術学専攻美術教育研究領域修了。博士(美術)。専門分野は日本画/美術教育。単著に『藝術と環境のねじれー日本画の景色観としての盆景性ー』(2013)清水弘文堂。共著に東京藝術大学美術教育研究室編『美術と教育のあいだ』(2011)東京藝術大学出版会。



後援: せたがやeカレッジ

第8回 12月2日(土) 10:40～12:10

定員 30名

ジェイン・オースティンと女性たち

講師 ● 英語コミュニケーション学科 教授 金子 弥生

2017年は、ジェイン・オースティン(1775-1817)没後200年の記念の年です。オースティンは、小説を6作品残していますが、そのすべてにおいて、女性の結婚をテーマとして扱っています。今講座では、現代女性たちと比べて多くの制限の中で生きてきた19世紀イギリスの中産階級の女性たちの生活を概観した後、『高慢と偏見』、『分別と多感』などを取り上げ、現在も続くオースティン人気の理由を考えます。必要に応じて映像を援用しつつ、19世紀の女性たちの悲喜劇を鑑賞します。

講師プロフィール かねこ やよい

文学博士。専門は19世紀イギリス小説。特にシャーロット・ブロンテの作品研究をフェミニズム的視点から考察しつつ、作者の作品執筆の意図を探る。近年はジェイン・オースティンなど19世紀の他の女性作家のみならず、児童文学への関心をも広げている。



後援: せたがやeカレッジ

●受講料: 無料 ●会場: 昭和女子大学内教室(当日守衛室でご案内します) ●申込方法: E-mail またはホームページから ①受講希望日 ②氏名 ③連絡先 ④性別 ⑤年代 をお知らせください。 ●申込先: 昭和女子大学地域連携センター ●申込開始: 9月15日から E-mail ▶ openseminar@swu.ac.jp HP ▶ http://univ.swu.ac.jp/community_relations/

※受講の可否についてこちらから連絡させていただきます。申込後1週間を過ぎても連絡がない場合は、恐れ入りますが再度お問い合わせください。

